

## 令和 8 年度

市立藤野中学校 給食配膳室修繕

[illegible]

原図サイズ=A 2



*SAGAMI HARA*

相模原市



工事名称

市立藤野中学校給食配膳室修繕

課長
----

担当課長

担当
----

縮尺
----

設計年月日  
2026.05

図面名称	
------	--

表紙・図面リスト

図面番号

00

A

特記仕様書

1. 修繕概要

修繕名称  
修繕場所  
修繕内容

市立藤野中学校給食配膳室修繕  
藤野中学校：相模原市緑区小淵2082  
【藤野中学校】  
C棟1F 支援教室を給食配膳室に改修 S造2階建て  
B棟1F 既存給食配膳室を学習室に改修 R造2階建て

2. 一般事項

設計図書の適用

設計図書の適用順位は、原則として次のとおりとする。また、下記で選択した各標準仕様書等の「用語の定義」「書面」の文中「署名又は押印された文書」とあるのは、「文書の真正性が確認された文書」と読み替えるものとする。  
(1) 質問回答書(2)から(4)までに対応するもの  
(2) 本特記仕様書  
(3) 図面  
(4) 公共建築工事及び改修工事標準仕様書(令和7年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
公共建築工事及び改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
公共建築工事及び改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

疑義

設計図書の内容に疑義が生じたり、現場の納まり若しくは取り合い等の関係で設計書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、施工前に監督員と協議すること。

施工図等

1 受注者は施工に先立ち、工事に関連する部分の実測を行った上で設計図書との照合を行い、所定の寸法が確保できることを確認する。なお、寸法等の変更を要する箇所が生じた場合には監督員に報告するとともに、施工図、製作図等を作成し監督員の承諾を受けること。  
2 製作、発注物品の同等確認等は製作・発注前に必ず監督員の承諾を受けること。  
3 施工上の納まり、取合い等の関係で簡易な調整を行う場合は、監督員との協議による。

写真

修繕着手前の現況写真、各工程写真、完成写真をカラーで提出すること。

発生材の処理等

解体に伴う発生材は、関係法令に従い、受注者の責任において場外処分を行うこと。また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」において定める産業廃棄物管理表(紙マニフェスト)または電子マニフェストにより管理するものとする。産業廃棄物管理表(紙マニフェスト)で管理した場合は、A票及びE票が送付され次第、その写しを監督員に提出する。電子マニフェストで管理した場合は、運搬終了報告、処分終了報告、最終処分終了報告の通知が届き次第、その写しを監督員に提出する。

材料

特記なき使用材料は全て新品とし、出荷証明書及び材料の品質、性能等の証明となる資料等を監督員に提出すること。  
JIS又はJASマーク表示のある材料又は規格、基準等の規格証明書が添付された材料を使用すること。  
F☆☆☆☆材を使用すること。  
設計図書に定められた材料の見本を提出又は提示し、材料、仕上げの程度及び色合い等について、あらかじめ監督員の指示又は承諾を受けること。

材料検査

受注者は材料の現場搬入の際、使用材料が設計図書に定められた仕様と適合することを確認すること。

化学物質の濃度測定

空気中に含まれるホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定を実施し、報告書により結果を監督員に報告する。試料採取方法は、吸引方式(アクティブ法)とし、1箇所当りの試料は2採取試料を同時採取する。また、分析は厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」に準ずる。  
測定時期： 施工前 測定時期： 完成時  
測定対象室： 【藤野中学校】C棟1F 支援級教室 測定対象室： 【藤野中学校】C棟1F 給食配膳室  
測定箇所数： 1箇所 測定箇所数： 1箇所

養生

修繕範囲及び既存部分には、塗粉塵等の飛散防止及び破損防止のための養生を適切に行い、破損させた場合は監督員に報告のうえ受注者の負担において現況復旧すること。

施工管理

施工に携わる下請負人に関係図書及び監督員の指示を受けた内容を周知徹底すること。

工程管理

工程に関しては、学校関係者及び監督員と十分調整を行い施工すること。

3. その他

施工時間

施工時間は、原則8:30～17:00までとし、詳細については、学校関係者及び監督員と協議すること。

仮設

内外部における仮囲い位置、資材置き場、工事車両駐車位置等については事前に仮設計画図を作成し、学校関係者及び監督員と調整を行うこと。  
特に避難経路等の妨げにならないよう配慮すること。

安全配慮

学校敷地を車両が入り出すとき又は学校敷地内を車両が通行する場合は、次の事項を厳守し、児童の安全対策を十分に行うこと。  
(1) 学校敷地内は最徐行すること。  
(2) 原則、生徒の登下校時及び休み時間は通行しないこと。やむを得ず通行する場合は、受注者(現場代理人等)の了解を得ること。  
(3) 渡り廊下を通過する前には必ず一時停止し、前後左右の安全確認を行うこと。  
(4) 同乗者がいる場合は、1人が車両から降りて先導すること。  
(5) 同乗者がいない場合は、事前に学校内にいる人(現場代理人等)に連絡を入れ先導してもらうか、ハザードランプを点灯させて最徐行すること。  
(6) 駐車スペースからの発進時は、車両周辺の前後左右の安全確認を行うこと。

注意事項

1 修繕に伴う第三者への損害については、受注者の責任において補償すること。  
2 廃物は現場に放置しないこと。

材料 (7.1.3)

下地調整

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (JIS等の材料規格において放散量が規定されている場合) ※F☆☆☆☆・( )  
下地面の種類 下地調整の種別 下地面の種類 下地調整の種別  
・木部(不透明塗料塗り) ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・コンクリート、モルタル、プラスター面 ・RA種 ※RB種 ・RC種  
・せっこうボード面及びその他のボード面

素地ごしらえ

・木部(不透明塗料塗り) ※A種 ・B種  
・せっこうボード面及びその他のボード面 経目処理工法 ※A種 ・B種

塗装

・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EPG)  
塗装面の種類 工程の種別  
塗替え 新規  
・コンクリート面等 ※B種 ・A種  
・( ) ※B種  
・屋内木部 ※B種 ※A種  
・( ) ・( )

事前調査等

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示 ・( )  
石綿含有建材の調査  
石綿含有建材の事前調査 ・行う ・行わない  
大気汚染防止法に基づき、当該工事の受注者は当該工事が特定工事(特定粉塵排出等作業を伴う建設工事をいう)に該当するか否かの調査を行い、その結果や届出事項等を発注者に書面で説明する。  
また、上記結果等を工事場所に掲示するものとする。  
受注者は石綿含有建材の有無にかかわらず、以下の規模要件のいずれかに該当する場合は、事前調査結果を石綿事前調査結果報告システムにて報告すること。  
(1) 躯体部分の延べ床面積が80平方メートル以上の建築物の解体工事 (2) 請負代金が税込100万円以上の特定の工作物の解体工事  
(3) 請負代金が税込100万円以上の建築物の改修工事  
【石綿事前調査結果報告システム】 https://www.ishiwata-houkoku.mhlw.go.jp/  
調査範囲 ・図示 ・(工事範囲内)  
貸与資料(アスベスト分析結果報告書)  
石綿含有の有無  
石綿含有吹付材除去工事(ⅴ'ⅴ1 届出対象特定工事) ・有 ・無  
石綿含有保温材等(ⅴ'ⅴ2 届出対象特定工事) ・有 ・無  
石綿含有成形板除去工事(ⅴ'ⅴ3) ・有 ・無 ※仕上げ表図示  
石綿含有仕上げ塗材等 ・有 ・無 ※分析調査済み  
表示及び揭示  
「建築物等の解体等の作業を行うに当たっての石綿ばく露防止対策の実施内容の揭示について」(平成17年8月2日 厚生労働省通知 起案発第0802001号)、「大気環境中への石綿(アスベスト)の飛散防止対策の徹底と実施内容の揭示について」(平成17年8月19日厚生労働省通知起案発第050809002号)に基づき、実施内容を見やすい場所に掲示すること。  
作業計画書の提出及び撤去作業  
特定建築材料(ⅴ'ⅴ1、ⅴ'ⅴ2、ⅴ'ⅴ3及び石綿含有仕上塗材)の除去にあたり、作業開始前に特定建築材料作業計画書を提出すること  
撤去に際しては、法令を遵守し、作業計画に基づき各々のレベルに則した方法で適切に行うこと  
作業完了後の報告  
特定建築材料の除去作業完了後の報告  
大気汚染防止法18条23第1項に基づき除去作業完了後、速やかに作業結果報告書を発注者へ提出すること。

課長

担当課長

担当

縮尺

—

設計年月日

2026.05

図面名称

特記仕様書

図面番号

01

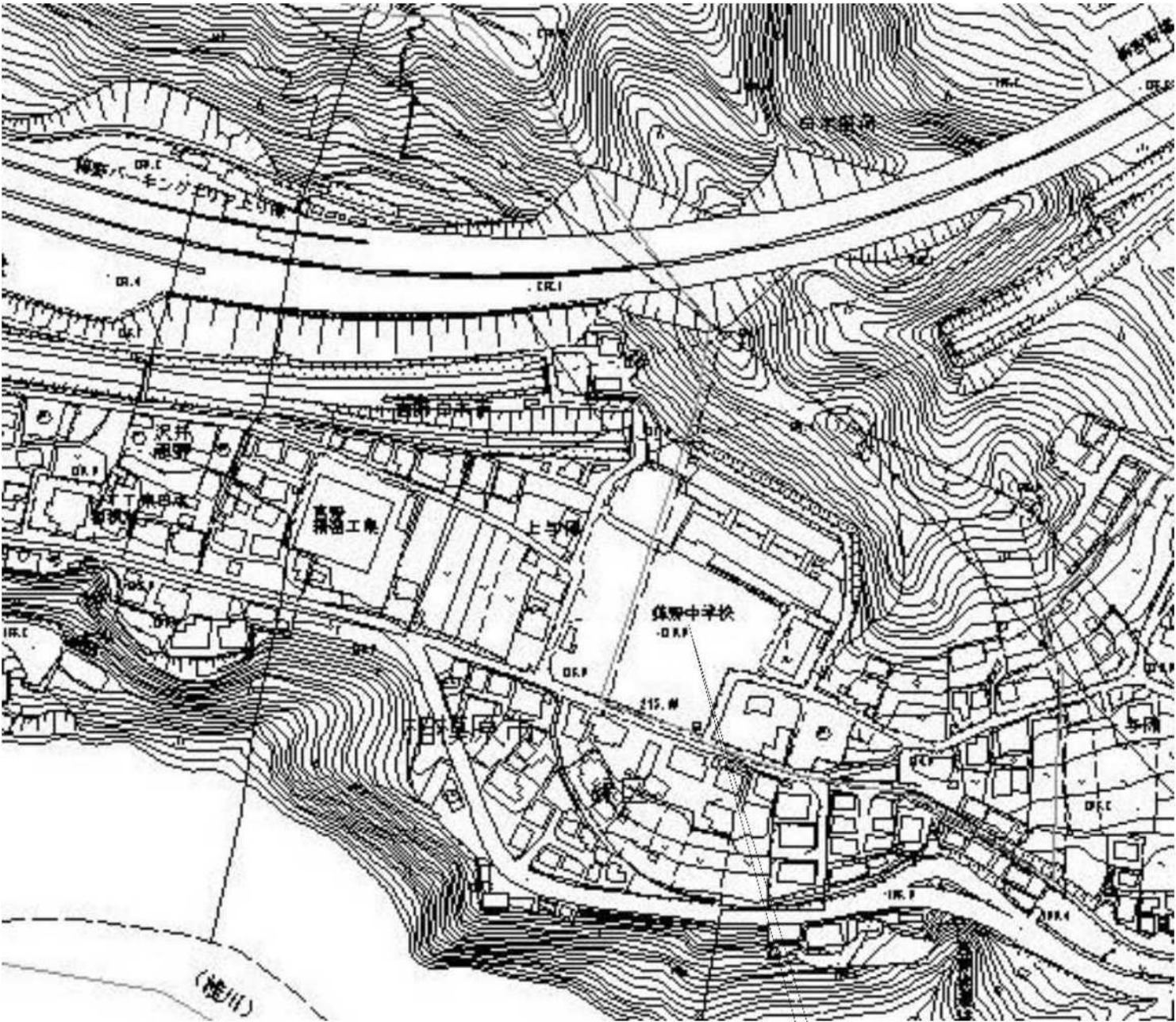
A

相模原市

SAGAMIHARA

工事名称

市立藤野中学校給食配膳室修繕

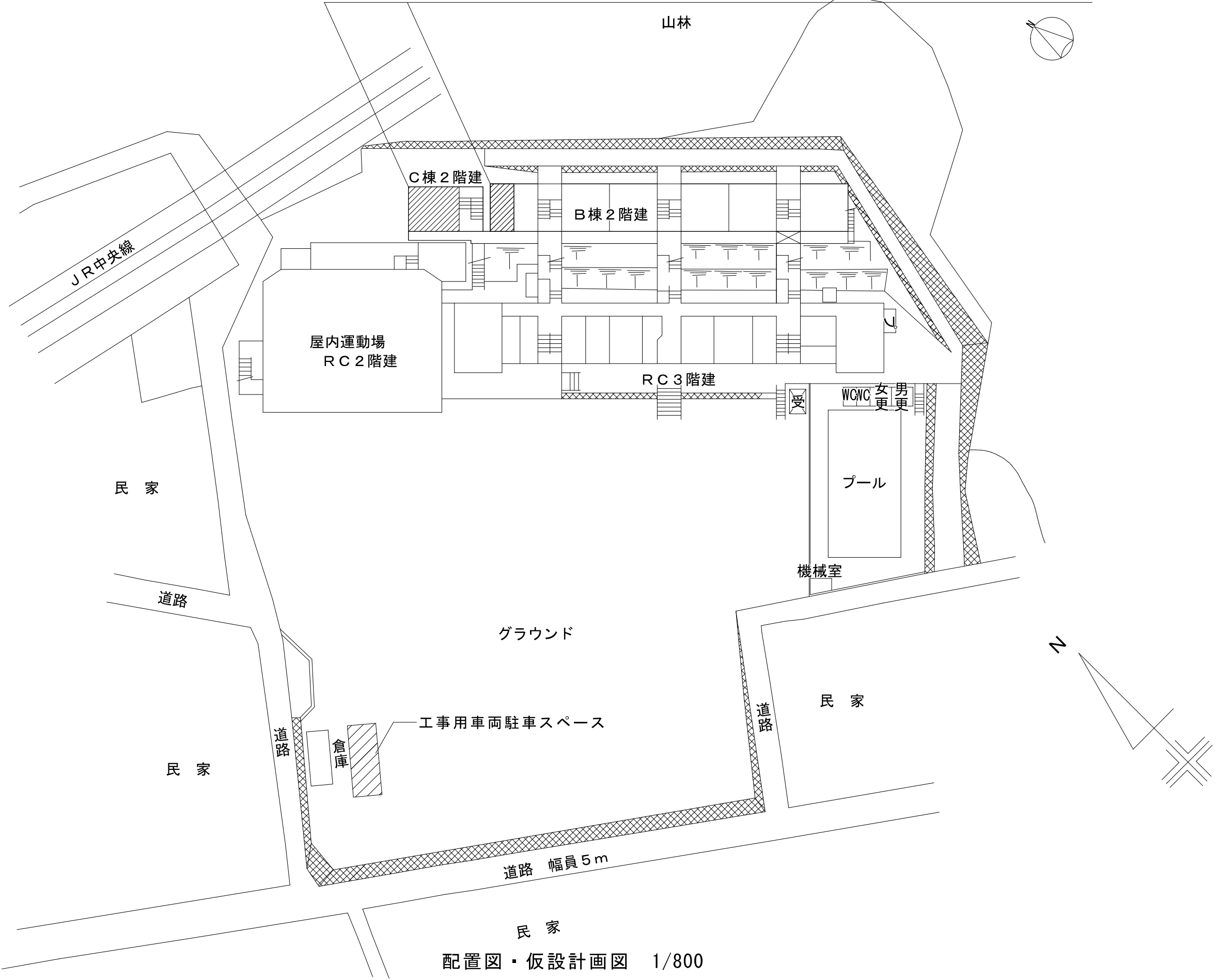


案内図

藤野中学校  
相模原市緑区小淵2082

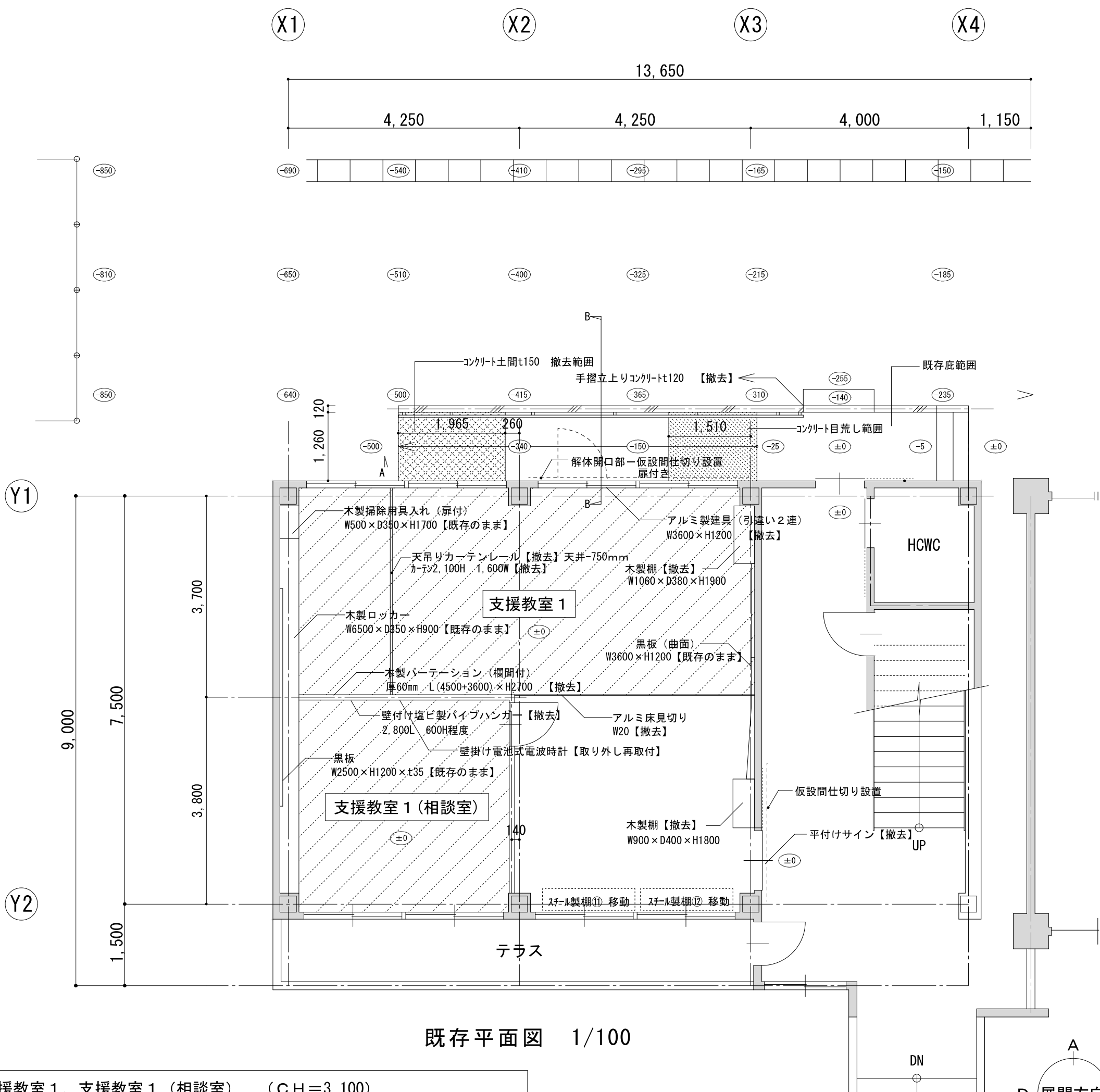
施 工 場 所	藤野中学校
所 在 地	相模原市緑区小淵2082
用 途 地 域	第1種中高層住居専用地域
建ぺい・容積率	建ぺい率 60%    容積率 150%
地 域	
日 影 規 制	高さ10mを超える建築物 3時間 2時間
高度地区	建物の高さの最高限度 15m

今回修繕場所  
C棟：支援教室【既存】    B棟：給食配膳室【既存】




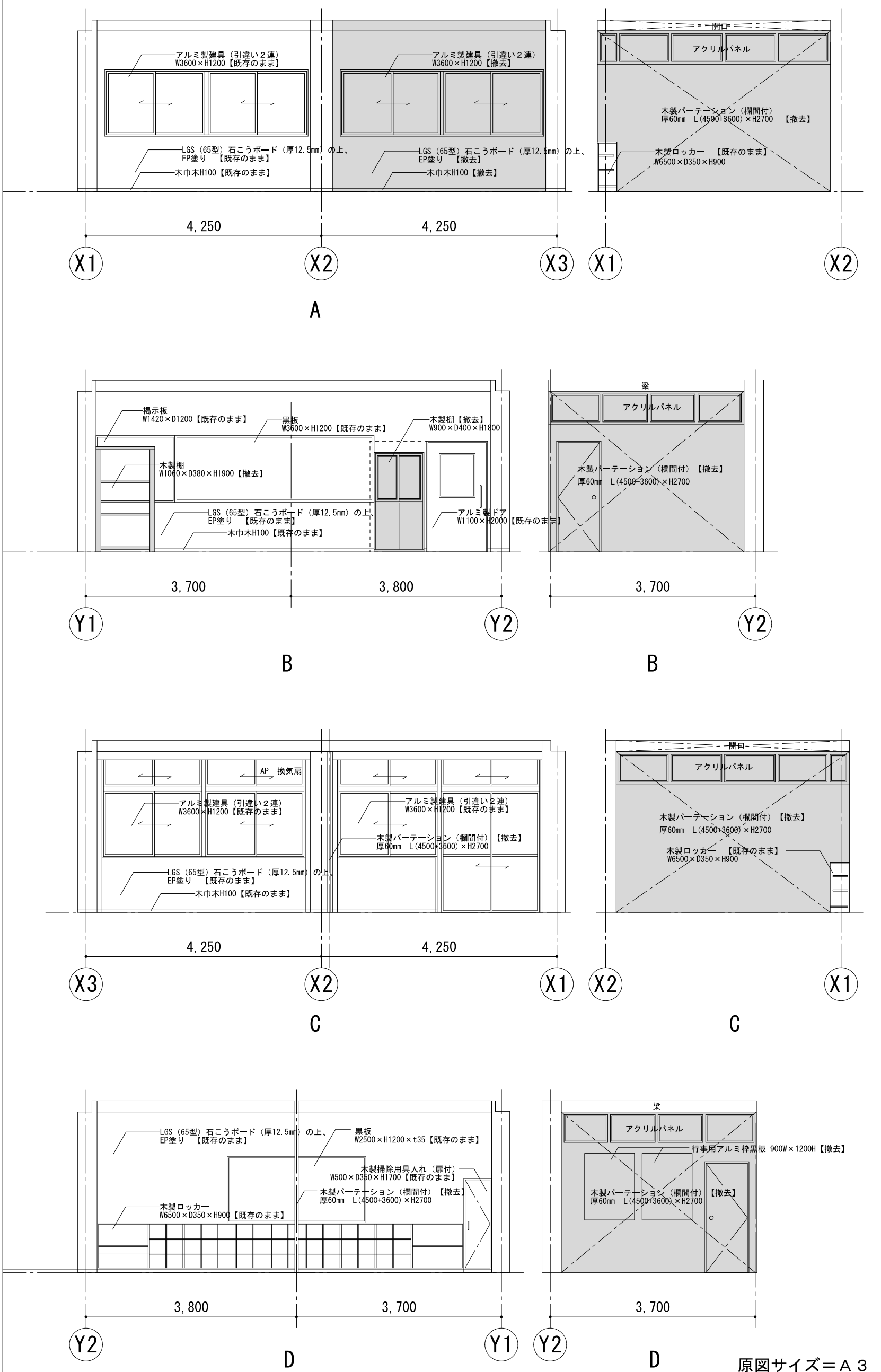
配置図・仮設計画図 1/800

原図サイズ＝A 2

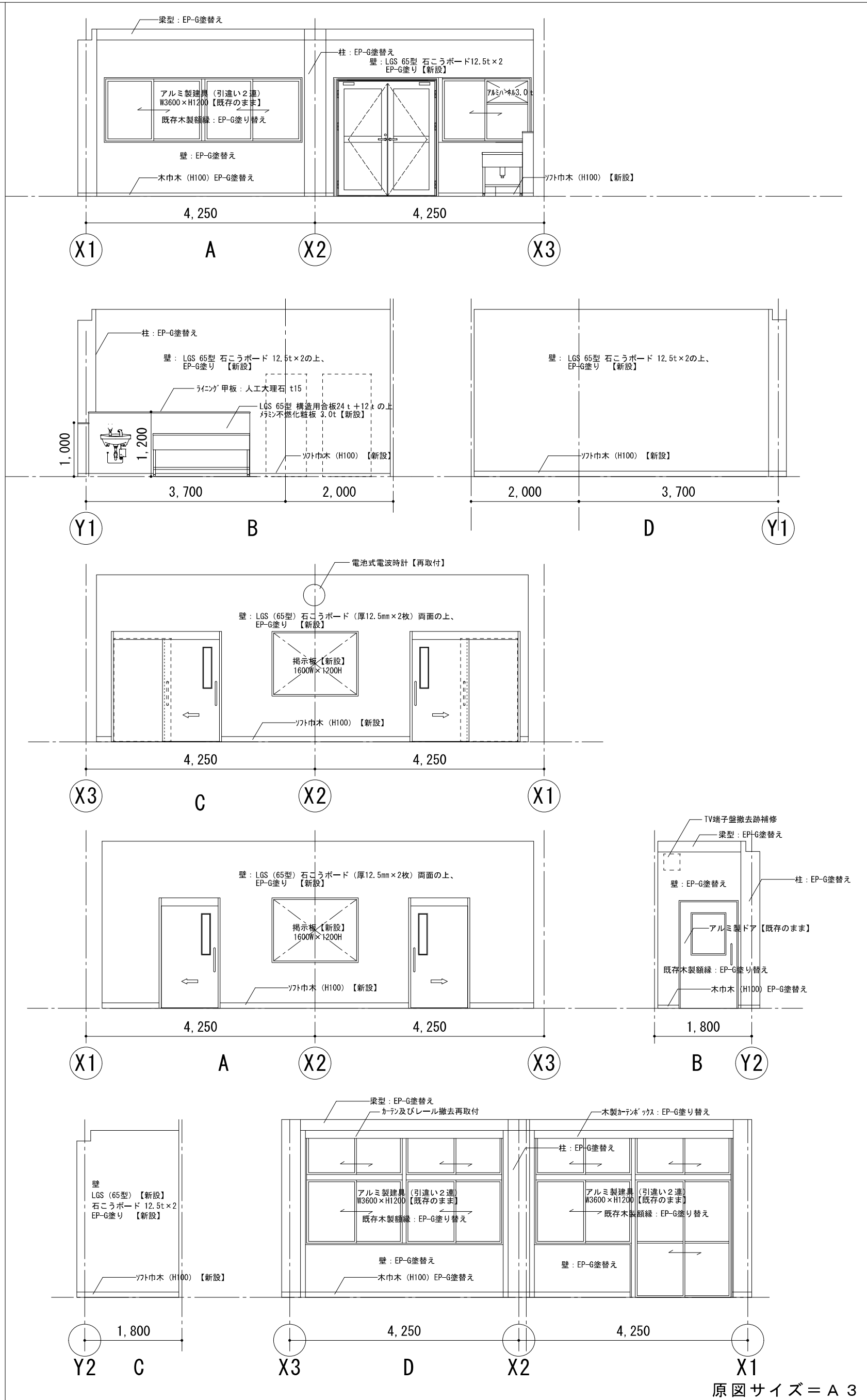


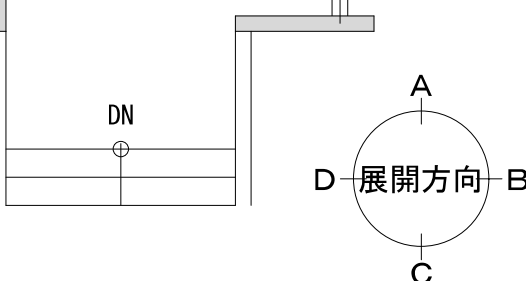

既存平面図 1/100

支援教室 1、支援教室 1（相談室）（CH=3,100）			
床	長尺塩ビシート（厚2.0mm）の上一部フェルトマット敷き【撤去】	天井	LGS、せっこうボード貼（厚9.5mm）の上、EP塗り【既存のまま】
	 フェルトマット敷き範囲を示す		梁型：LGS、せっこうボード貼の上、EP-G【既存のまま】
※長尺塩ビシート（アスベスト無）		備考	アルミ製建具【一部撤去】
巾木	ラワンOSV H100 一部撤去		
壁	外壁側：LGS（65型）石こうボード（厚12.5mm）の上、EP塗り【一部撤去】		
	間仕切：木製パーテーション（欄間部アクリルパネル）【撤去】		
木製ロッカー、掃除用具入れ、黒板、【既存のまま】			



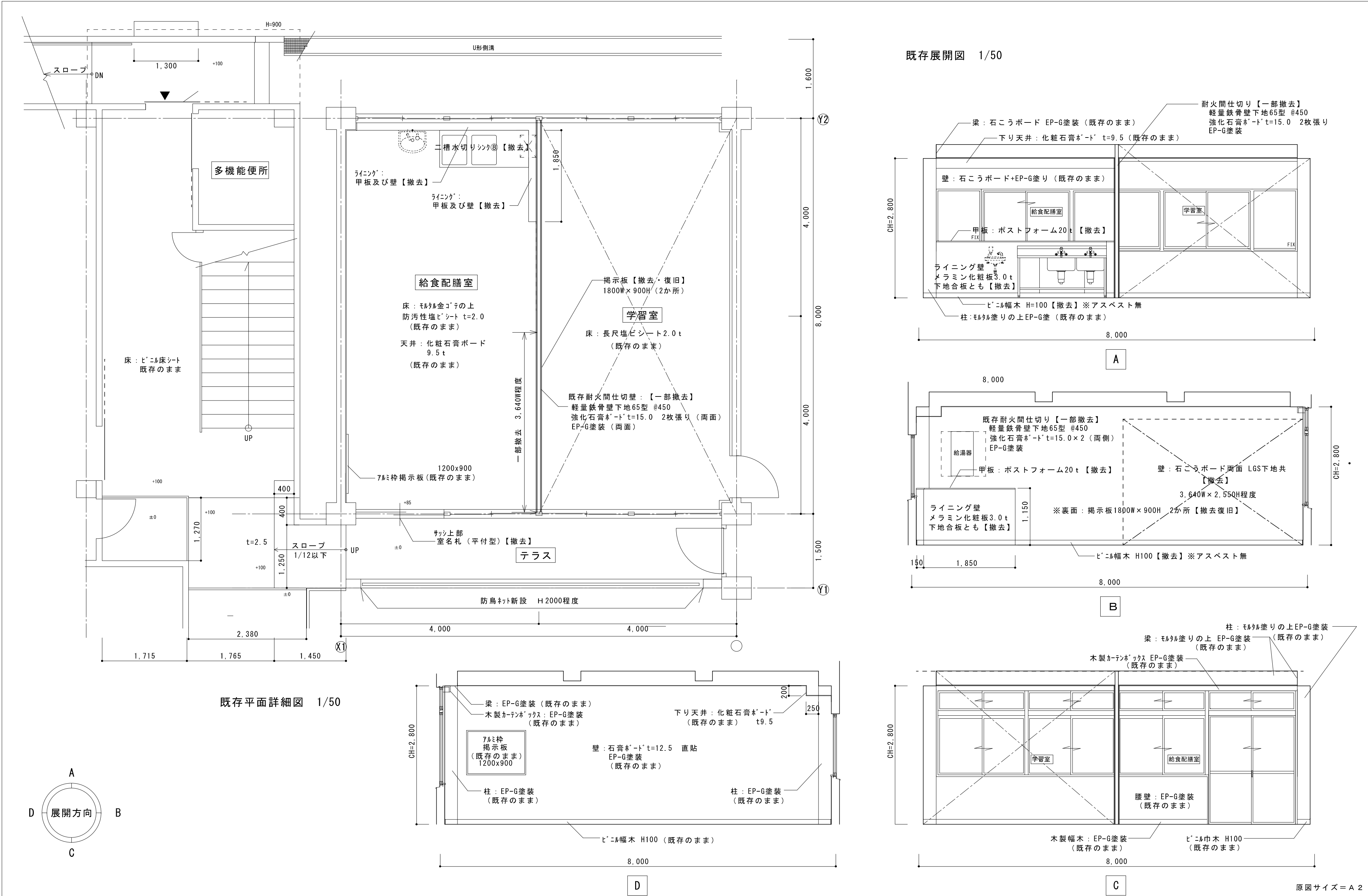
原図サイズ=A 3



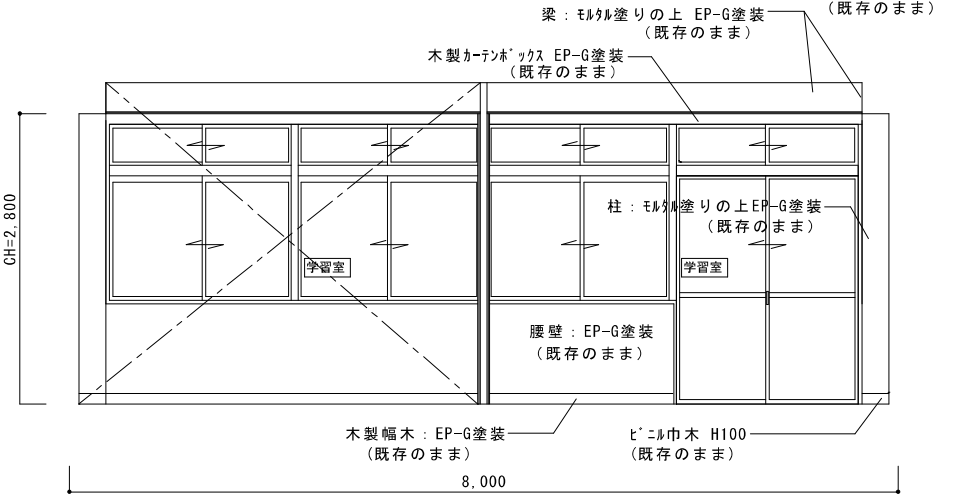
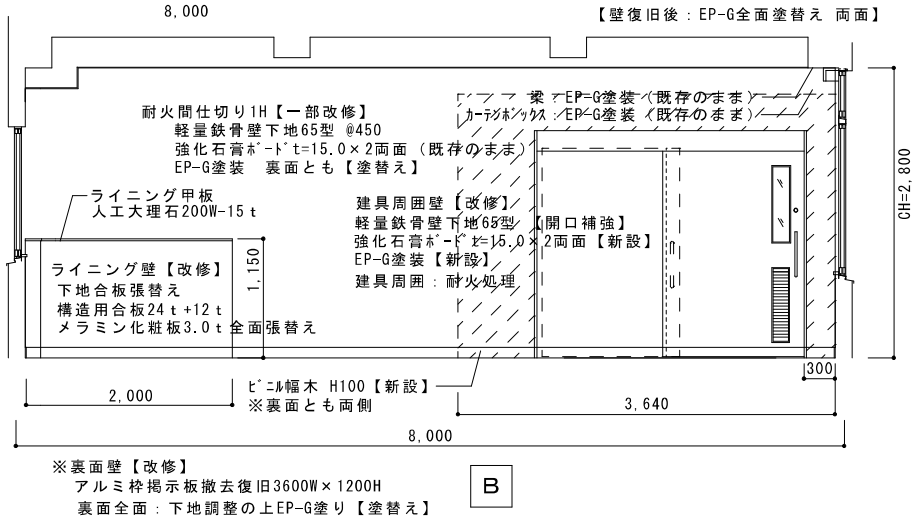
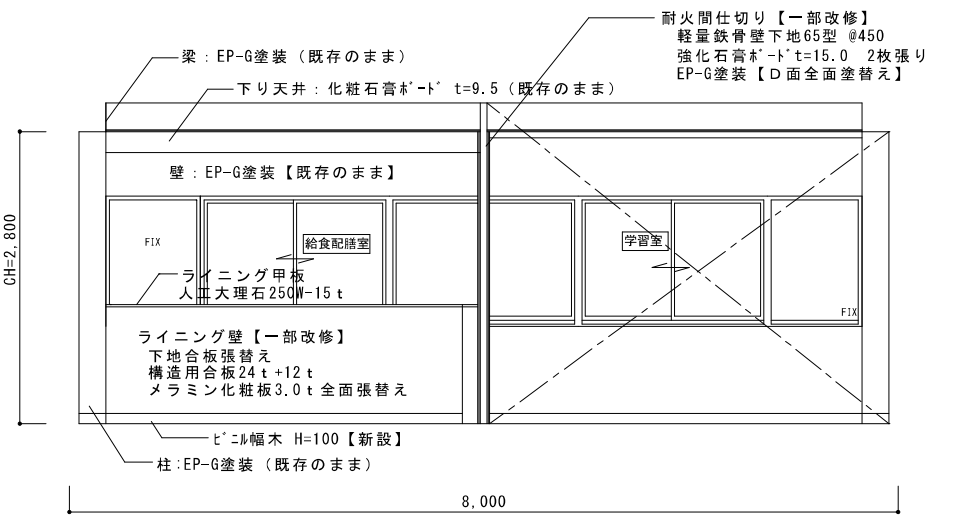
給食配膳室、前室（廊下）（CH＝3100）		※ステンレスシンク仕様 参考型番：H D 2-1 8 7 5（新日本厨機） 1800W×750D×850H 同等品			
床	【給食配膳室】				
	コンクリート下地 下地補修の上超防汚性ビニル床シート2.0 t 貼り【新設】				
	【前室】				
	コンクリート下地 下地補修の上超防汚性ビニル床シート2.0 t 貼り【新設】				
巾木	ソフト巾木 H100【新設】 既設木製巾木：EP-G塗り替え				
壁	天井				
	既存石膏ボード貼り 下地調整の上EP-G塗り替え				
	 天井点検口【新設】				
	※牛乳保冷库は既設に強制蒸発装置を取り付け【移設】				
備考	参考ホシザキ：HJY-270				





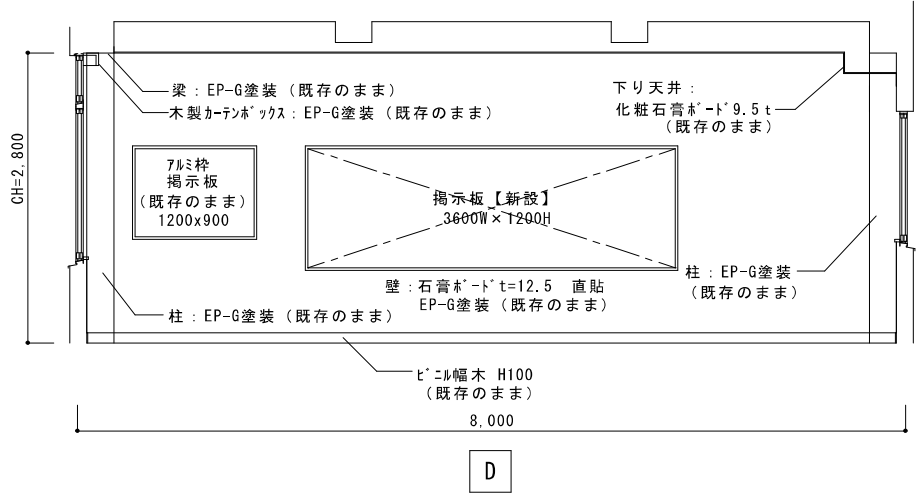
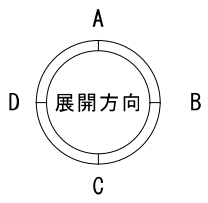


改修 展開図 1/50

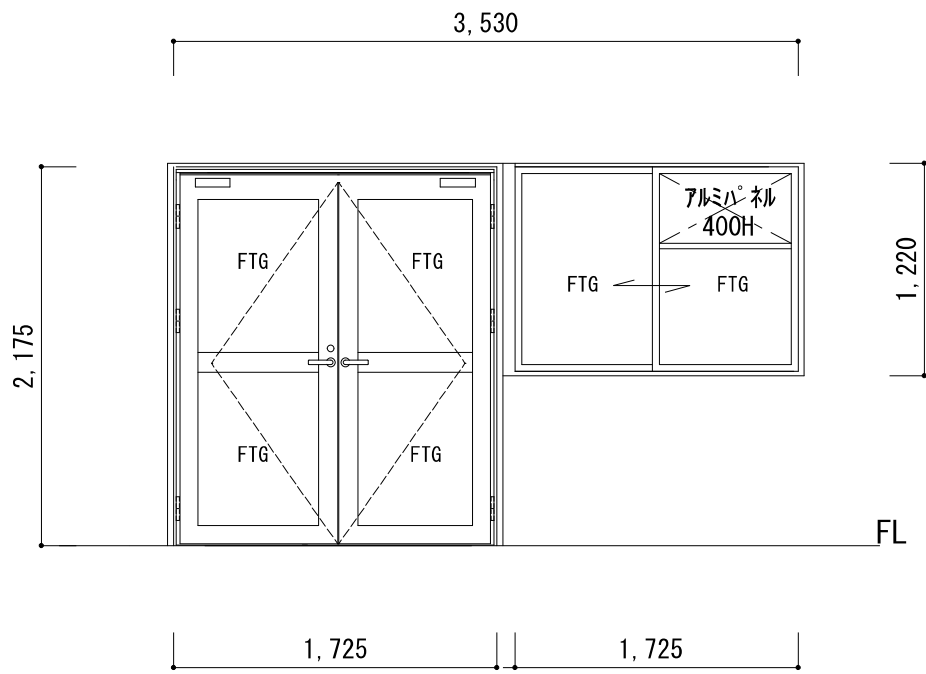
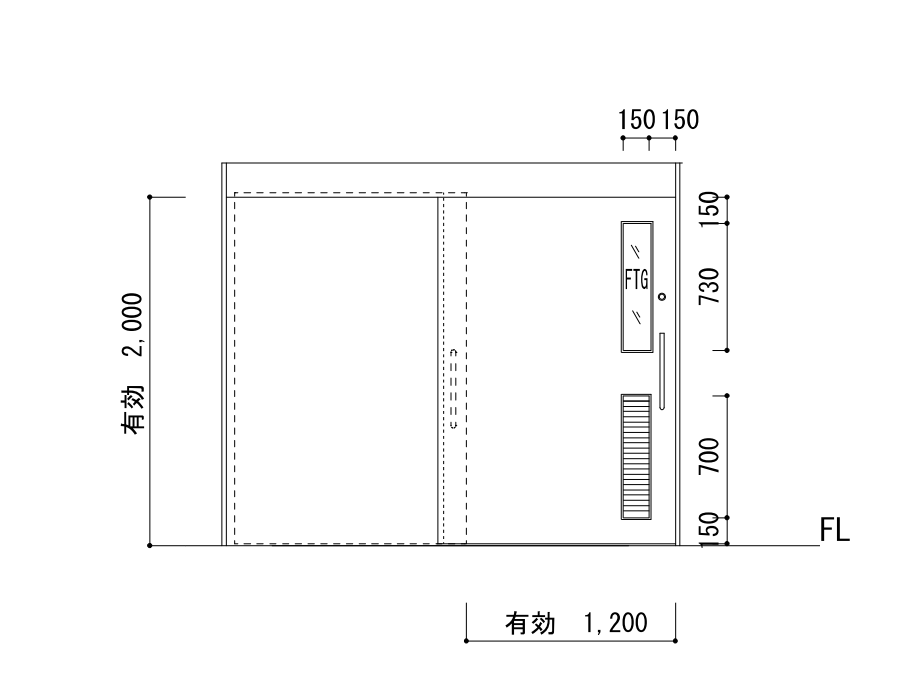
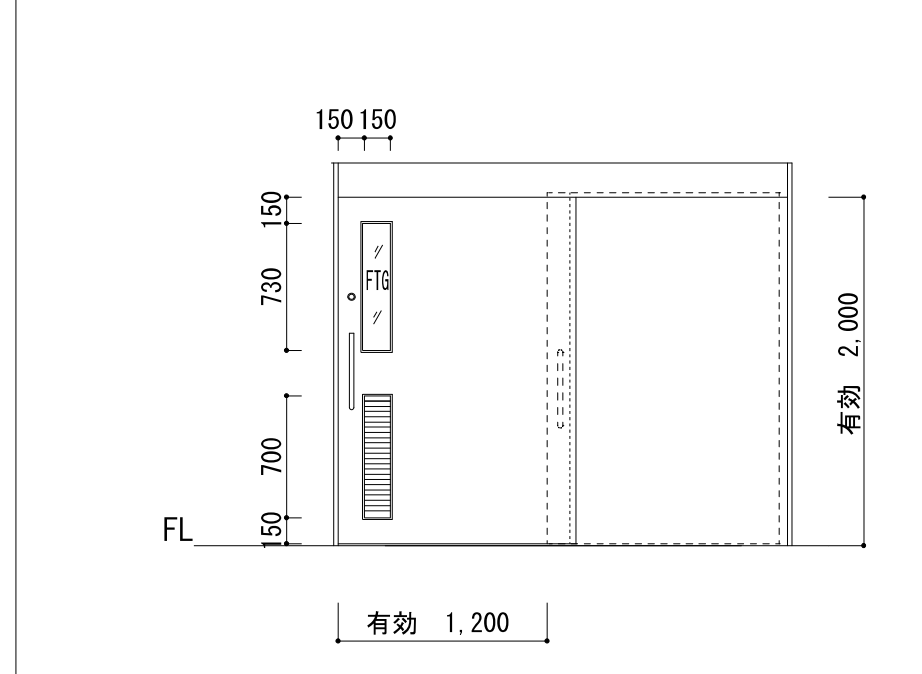
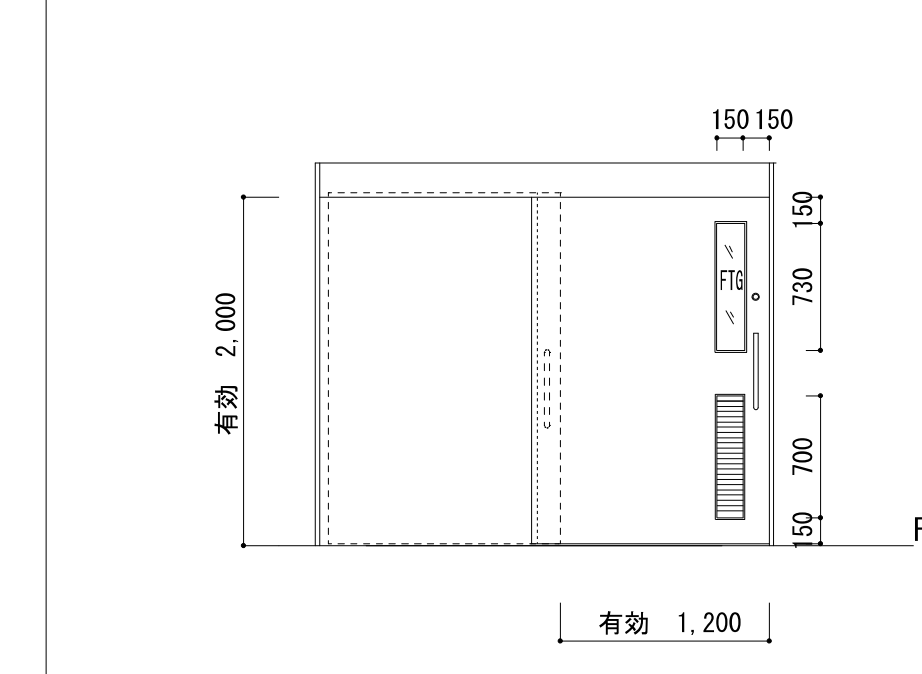
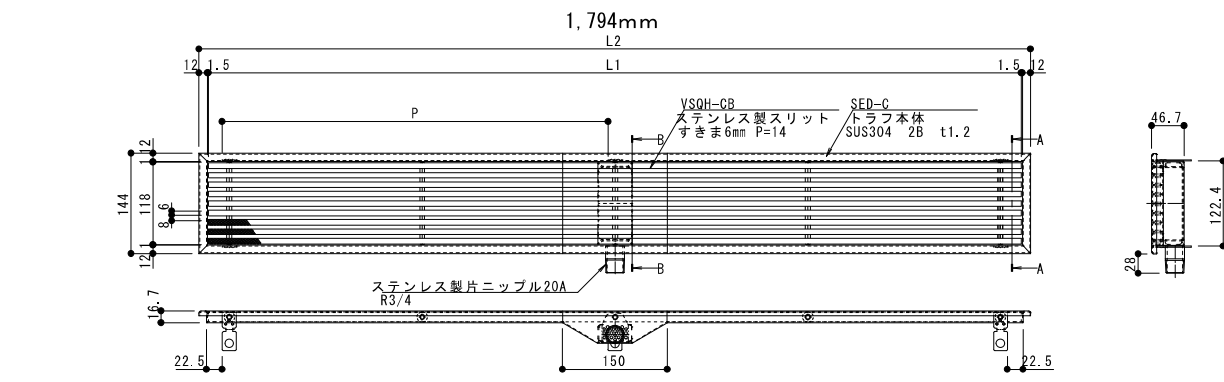



原図サイズ= A 2

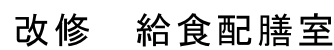
改修 平面詳細図 1/50








<div>1AW/AD</div> 給食配膳室【新設】1ヶ所		<div>1LSD</div> 給食配膳室【新設】1ヶ所		<div>2LSD</div> 給食配膳室【新設】1ヶ所		<div>3LSD</div> 学習室【新設】1ヶ所	
							
※製作図作成前に現地調査により建具寸法の確認を行うこと							
形 状	引き違い窓 (FIX窓付き) 引違い戸	形 状	片引きフラッシュ戸	形 状	片引きフラッシュ戸	形 状	片引きフラッシュ戸
使 用 箇 所	給食配膳室	使 用 箇 所	給食配膳室/前室	使 用 箇 所	給食配膳室/前室	使 用 箇 所	学習室
材 料 仕 上	アルミ (シルバー)	材 料 仕 上	溶融亜鉛メッキ製鋼板 マリン焼付塗装品 枠共	材 料 仕 上	溶融亜鉛メッキ製鋼板 マリン焼付塗装品 枠共	材 料 仕 上	溶融亜鉛メッキ製鋼板 マリン焼付塗装品 枠共
硝 子 見 込	強化型ガラス t=4.0 (新設) アルミパネル 3.0 t	硝 子 見 込	強化型ガラス t=4.0 (新設)	硝 子 見 込	強化型ガラス t=4.0 (新設)	硝 子 見 込	強化型ガラス t=4.0 (新設)
金 物	引違い金物一式 (クレント共), 皿板, 四方アングル, SUS沓摺, ドアチェック	金 物	SUS引手棒 シリンダー/サムターン 自閉式ハンガー (ストップ付き) 付属金物一式	金 物	SUS引手棒 シリンダー/サムターン 自閉式ハンガー (ストップ付き) 付属金物一式	金 物	SUS引手棒 シリンダー/サムターン 自閉式ハンガー (ストップ付き) 付属金物一式
備 考	アルミ製額縁 シリンダー錠はマスター合せ, 個別キーは共通 戸当たり	備 考	シリンダー錠はマスター合せ, 個別キーは共通	備 考	シリンダー錠はマスター合せ, 個別キーは共通	備 考	シリンダー錠はマスター合せ
ガラス凡例		ステンレス製排水ユニット詳細図					
STG : 学校用強化ガラス FTG : 強化型板ガラス PWG : 網入りトーマイガラス FWG : 網入り型板ガラス SG : フロートガラス FG : 型板ガラス AP : アルミパネル		 <p>排水はVP20でブラットホーム端部で自然流下開放とする</p> <p>参考メーカー：カネソウ 参考型番：中央部排水縦引き用 SEDS-CV 1518 ノンスリップタイプ同等品 ※図面は横引きタイプ参考図 参考図 NOSCALE</p>					
		原図寸法＝A 3					

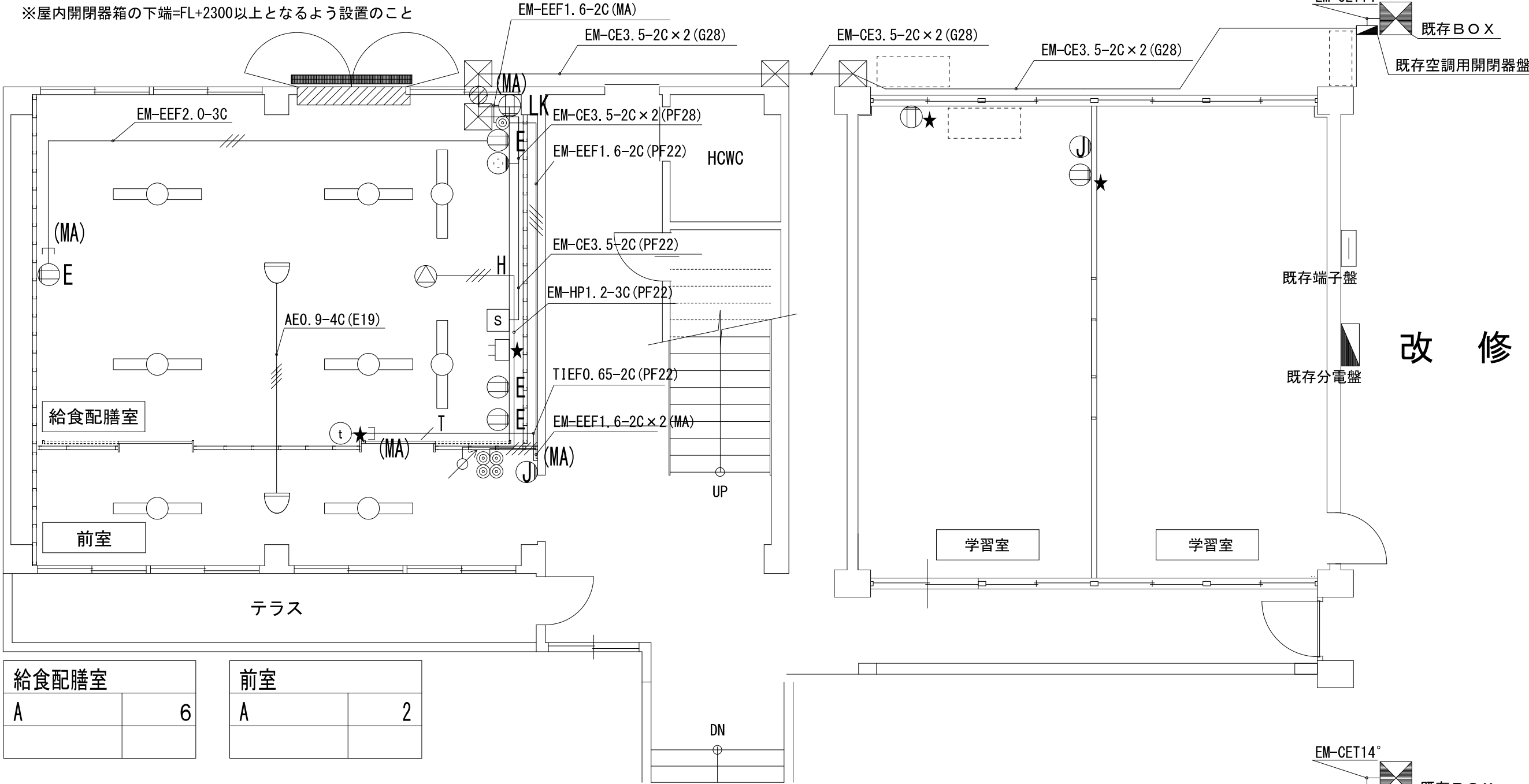
<div>相模原市</div>	<div>SAGAMIHARA</div>		工事名称	市立藤野中学校給食配膳室修繕			縮尺	図面名称	図面番号
							1/60 設計年月日 2026.05	建具表・雑詳細図	08 A



 <div>SAGAMIHARA</div> <div>相模原市</div>	 <div>工事名称</div> <div>市立藤野中学校給食配膳室修繕</div>		課 長	担当課長			担 当	縮尺	図面名称	図面番号
								一		
			設計年月日			2026.05				

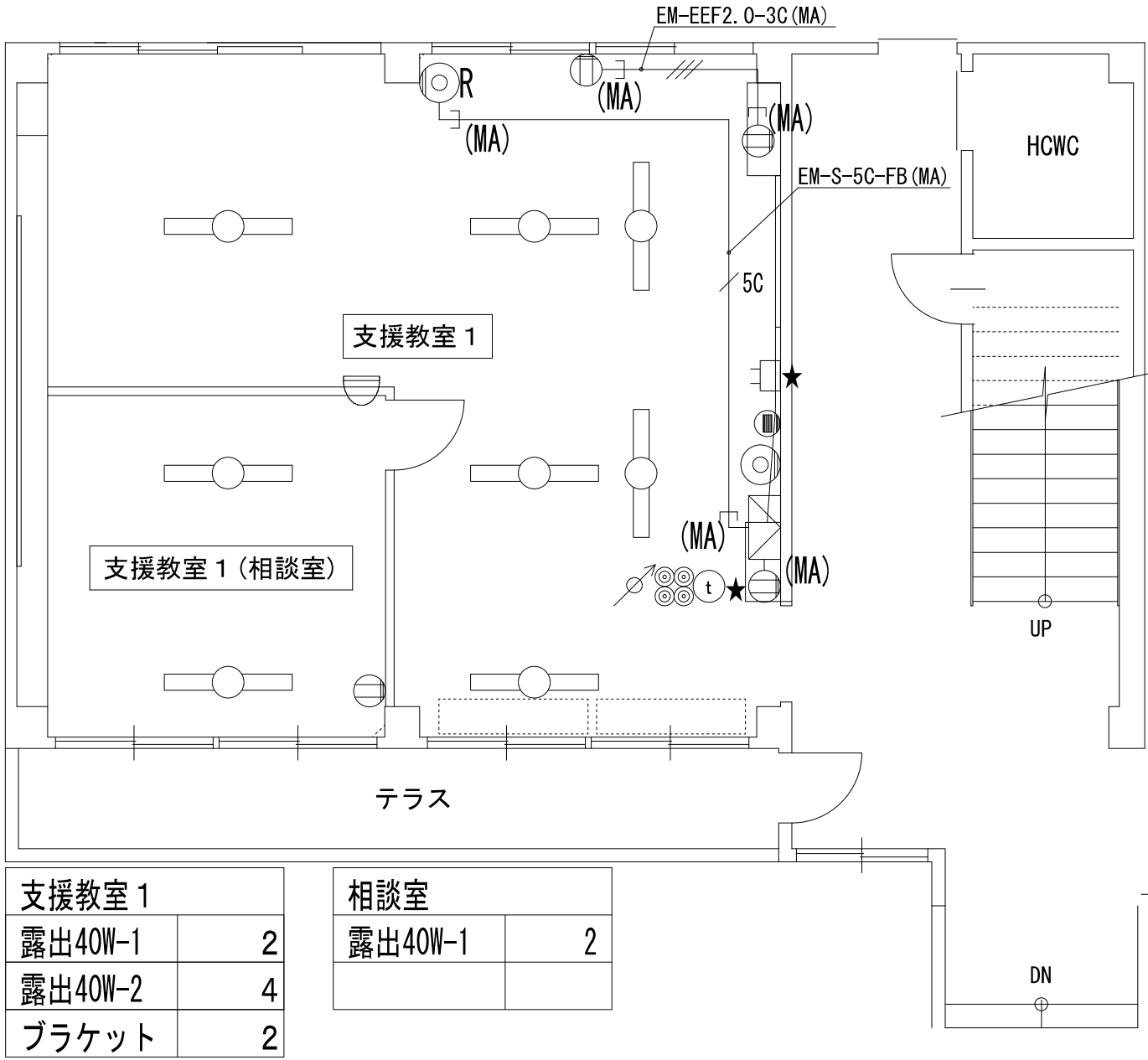
閉閉器相の下端=FL+2300以上となるよう設置のこと

※屋内開閉器箱の下端=FL+2300以上となるよう設置のこと



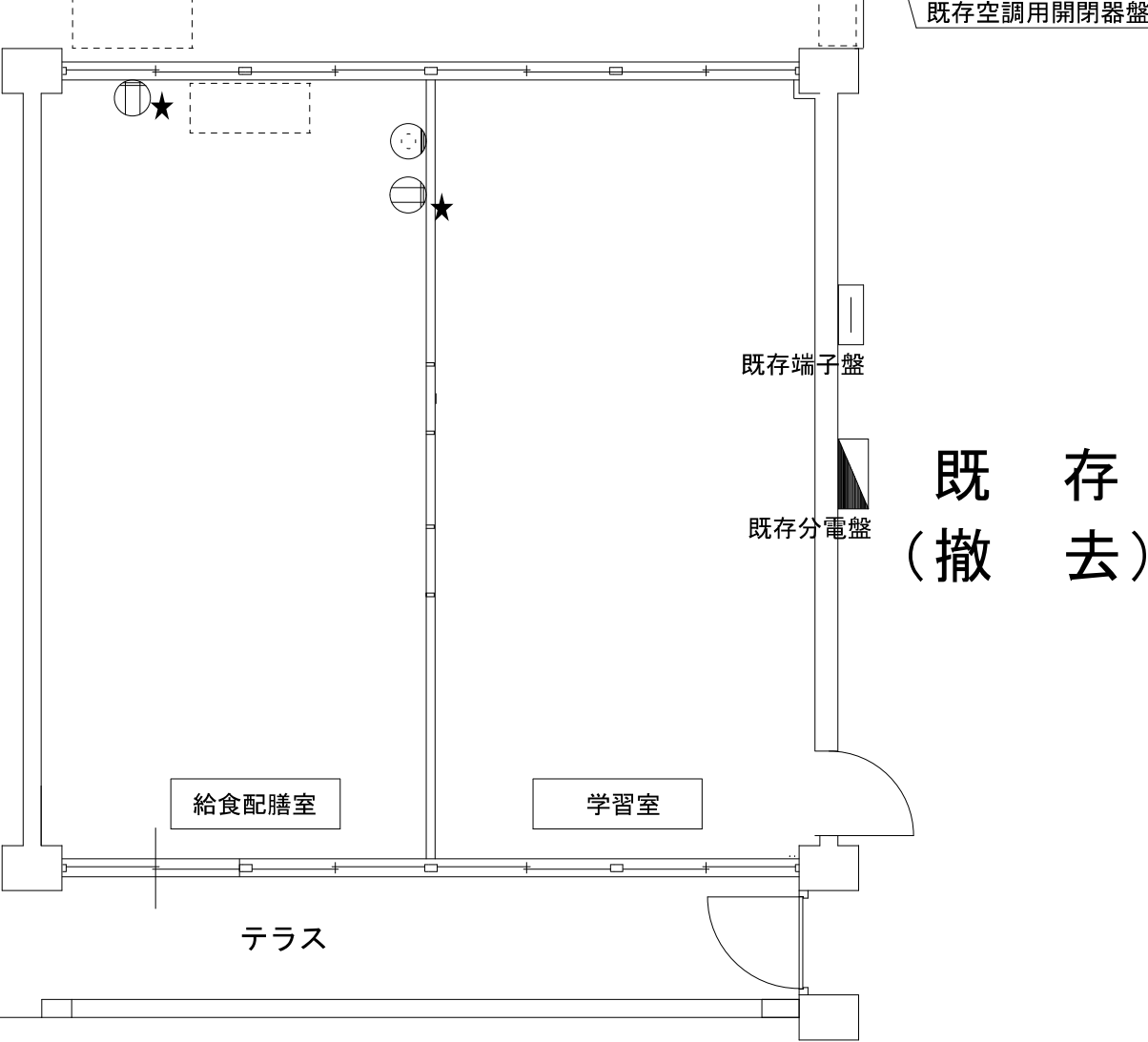
給食配膳室	
A	6

前室	
A	2



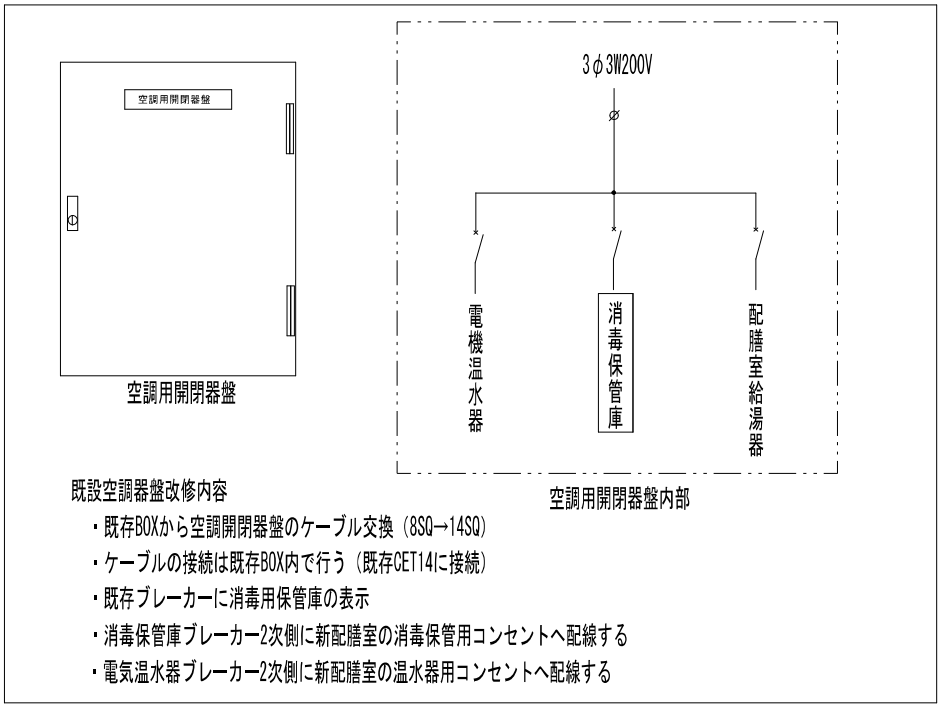
支援教室 1	
露出40W-1	2
露出40W-2	4
ブラケット	2

相談室	
露出40W-1	2



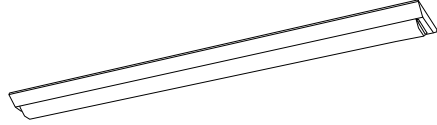
給食配膳室	

学習室	

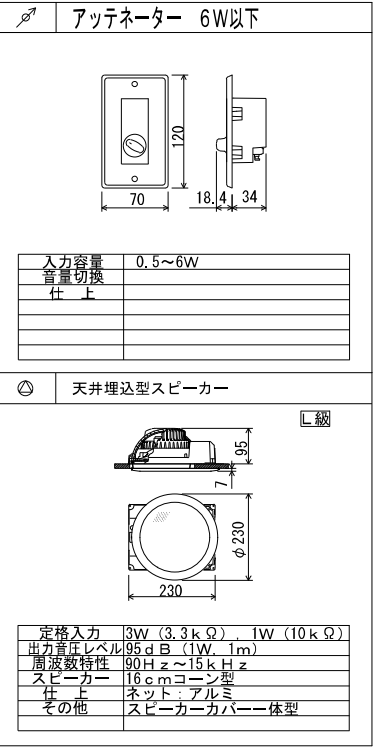


- 既設空調器盤改修内容
- ・既存BOXから空調開閉器盤のケーブル交換 (8SQ→14SQ)
  - ・ケーブルの接続は既存BOX内で行う (既存CET14に接続)
  - ・既存ブレーカーに消毒用保管庫の表示
  - ・消毒保管庫ブレーカー2次側に新配膳室の消毒保管用コンセントへ配線する
  - ・電気温水器ブレーカー2次側に新配膳室の温水器用コンセントへ配線する

A	直付灯
	LED 31.9W LSS9-4-48LN



※型番、姿図、寸法は参考とする



凡 例 (改 修)

記号	名 称	記号	名 称
ⓔ	壁付コンセント 2P15A E付	ⓓ	LED照明器具
ⓕ	防水コンセント 3P20A E付 3φ200V用	(MA)	金属線び (MM1A) を示す
ⓓ	金属プレート (角形)	★	既設再使用を示す
ⓔ	SW1Hi-1 (3) V0	ⓓ	タンブラスイッチ 1P15A (片切)
ⓔ	アッテネータ	ⓓ	LAN7ヶスポイント
ⓔ	差動式スポット型感知器 (2種)	ⓓ	屋内用開閉器箱
ⓔ	電話型インターホン	ⓓ	天井コンセント 2P15A E付 (抜け止め形)
ⓔ	プルボックス (2.2.1)		
ⓔ	貫通補修 (75φ)		

凡 例 (撤 去)

記号	名 称	記号	名 称
ⓔ	壁付コンセント 2P15A	ⓓ	LED照明器具
ⓕ	防水コンセント 3P20A E付 3φ200V用	(MA)	金属線び (MM1A) を示す
ⓔ	アッテネータ	★	既設再使用を示す
ⓔ	2端子型 テレビ端子	ⓓ	タンブラスイッチ 1P15A (片切)
ⓔ	2端子型 直列ユニット	ⓓ	LANコンセント (8P8C) CAT5E
ⓔ	差動式スポット型感知器 (2種)		
ⓔ	電話型インターホン		
ⓔ	LAN7ヶスポイント		
ⓔ	機器収容箱		

原図サイズ=A 3



SAGAMIHARA

相模原市



工事名称

市立藤野中学校給食配膳室修繕

縮尺

1/100

設計年月日

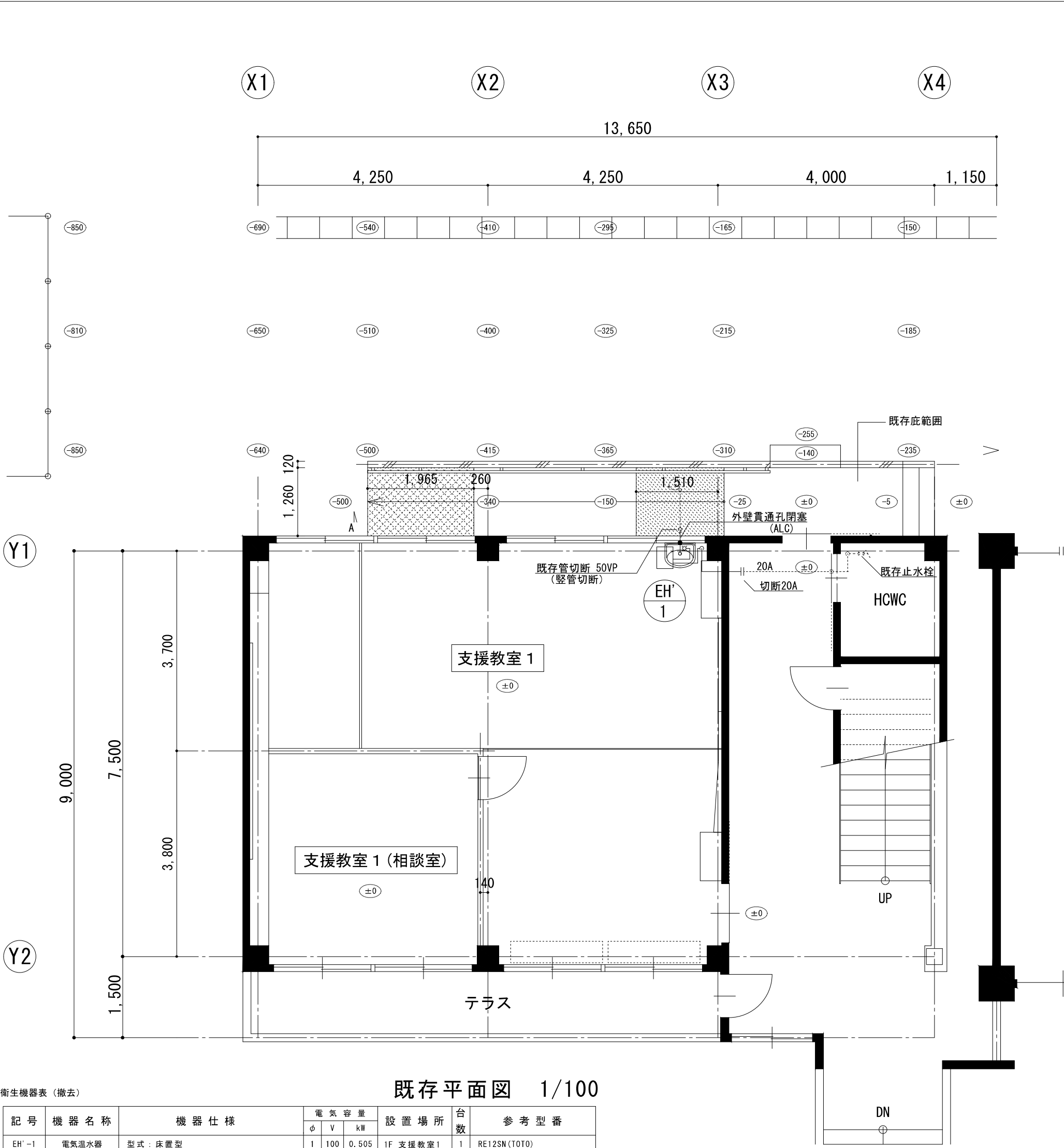
図面名称

既存・改修 電気設備平面詳細図

図面番号

01

E

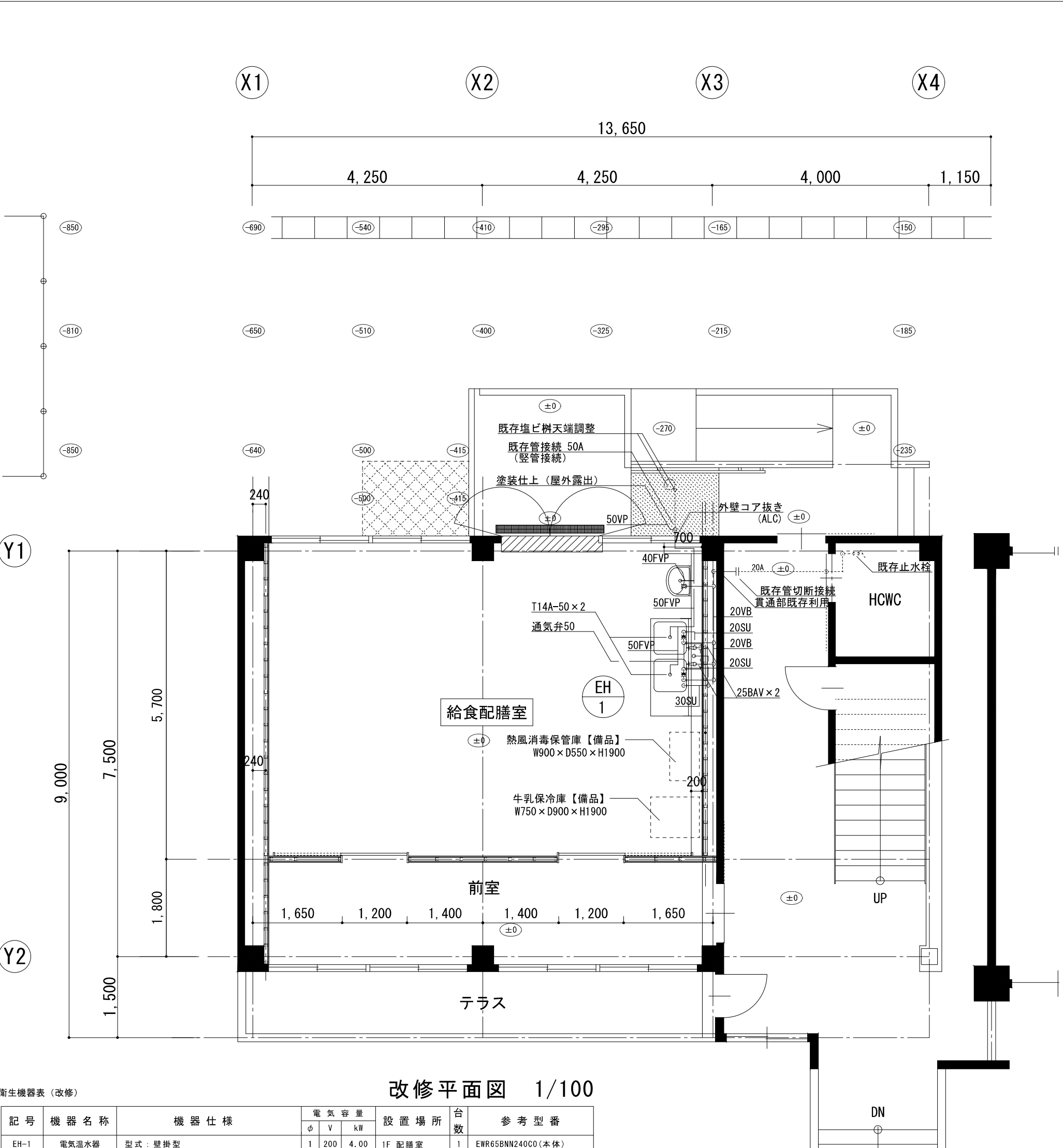


衛生機器表（撤去）

記号	機器名称	機器仕様	電気容量 φ V kW	設置場所	台数	参考型番
EH-1	電気温水器	型式：床置型 仕様：貯湯量 11.5L	1 100 0.505	1F 支援教室1	1	RE12SN(TOTO)

名称	仕様・付属品	設置場所	台数	参考型番	備考
洗面器	壁掛式、壁排水金具（Pトラップ）、	1F 支援教室1	1	L1030F(TOTO)	

図示記号（種別）	管種名称	規格	施工区分	保温仕様
--- 給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）	JWWA K 116	屋内一般配管	グラスウール化熱保温筒・粘着テープ
--- 給湯管	一般配管用ステンレスフレキ管（SUS）		屋内一般配管	
--- 排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	JIS K 6741	屋外一般・埋設（第1斜途）配管	
--- 仕切井	管端防食37付			



衛生機器表（改修）

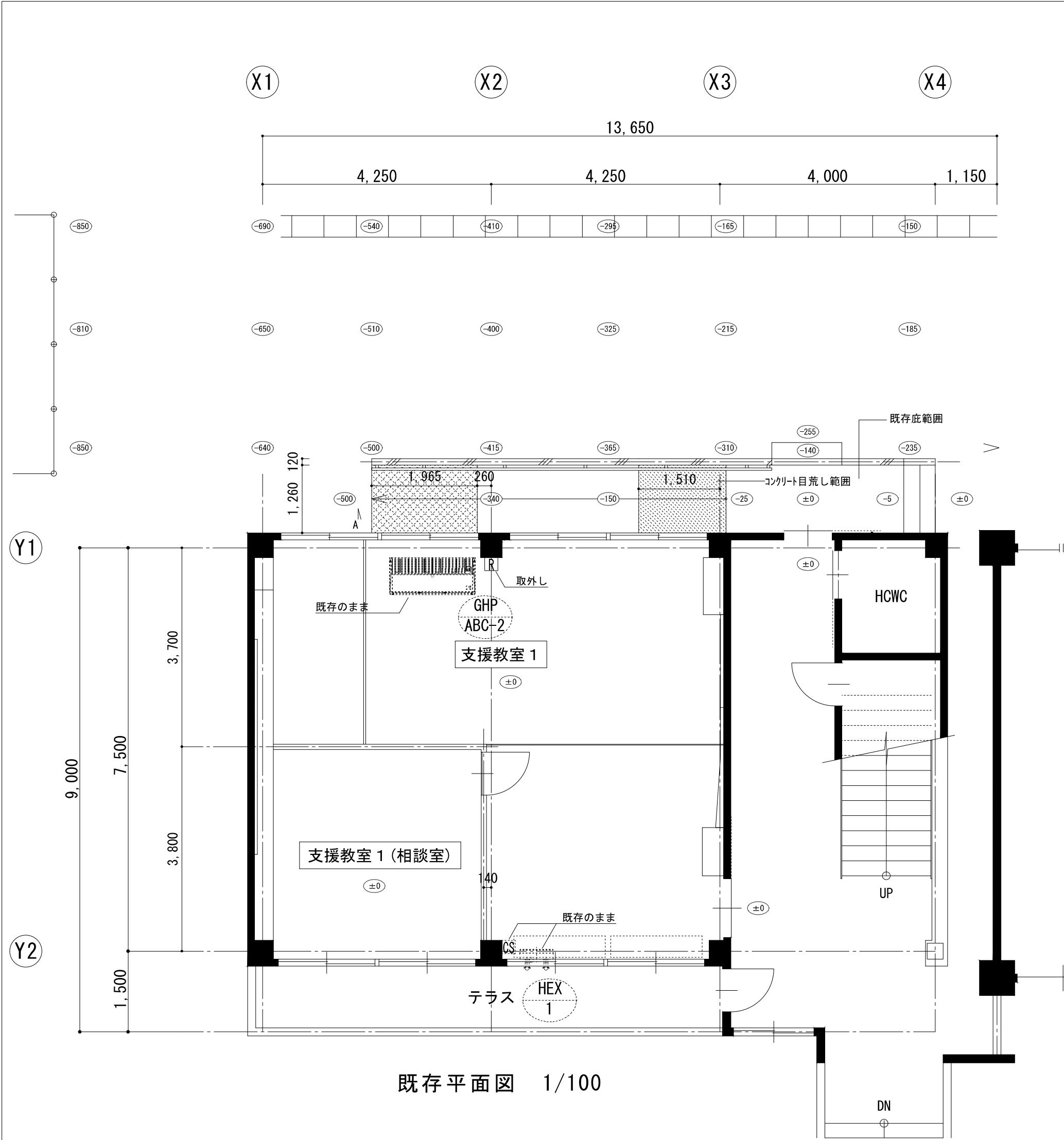
記号	機器名称	機器仕様	電気容量 φ V kW	設置場所	台数	参考型番
EH-1	電気温水器	型式：壁掛型 仕様：貯湯量 65L 付属品：タイマー・タイマー、給湯用フレキ管、 排水用フレキ管、混合水栓、 給水用フレキ管・止水栓セット、 オーバーフローパイプ、配管カバー、 本体取付板、その他標準付属品	1 200 4.00	1F 配膳室	1	EW65BNM240C0(本体) MZ-4N3(混合水栓) FOP(オーバーフローパイプ) (日本イソタ)

名称	参考型番 (TOTO)	仕様・付属品 (LIXIL)	設置場所	台数	備考
洗面器	L250D	L-176UAN	壁掛式、壁排水金具（Pトラップ）、	1F 配膳室	1
	TLE28SS1A	AM-300CV1	自動水栓、他付属品一式		AC100V

図示記号（種別）	管種名称	規格	施工区分	保温仕様
--- 給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）	JWWA K 116	屋内一般配管	グラスウール化熱保温筒・粘着テープ
--- 給湯管	一般配管用ステンレス鋼鋼管（SUS）	JIS G 3448	屋内一般配管	グラスウール化熱保温筒・粘着テープ
--- 排水管	建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FVP） 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）	JIS K 6741 JIS K 6741 JIS K 6741	屋内一般配管 屋外一般・埋設（第1斜途）配管 屋外埋設（第1斜以降）配管	
--- 仕切井	管端防食37付			

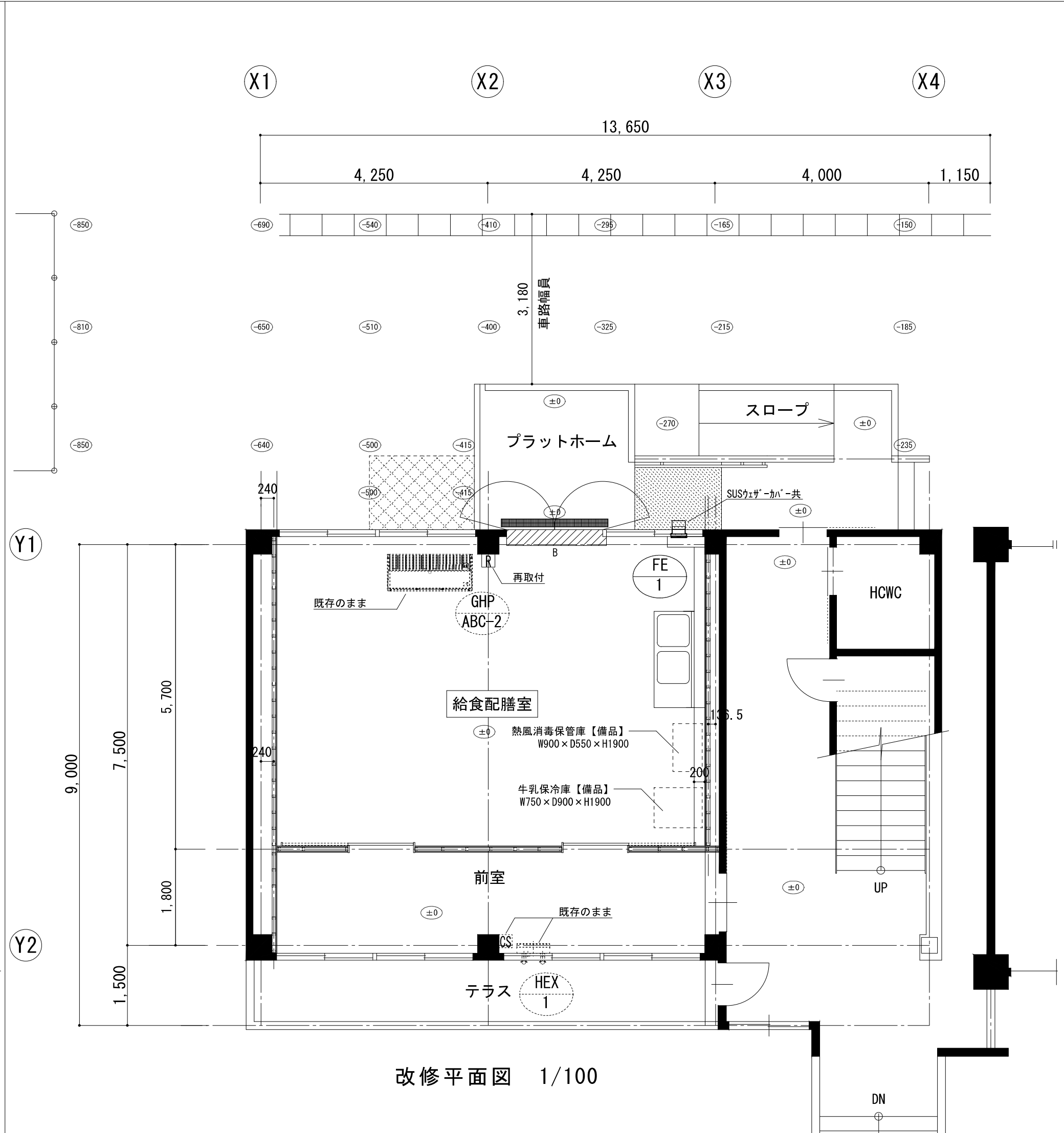
※給水管及び給湯管の屋内露出配管は化熱カバー（合成樹脂製）仕上げとする





既存平面図 1/100

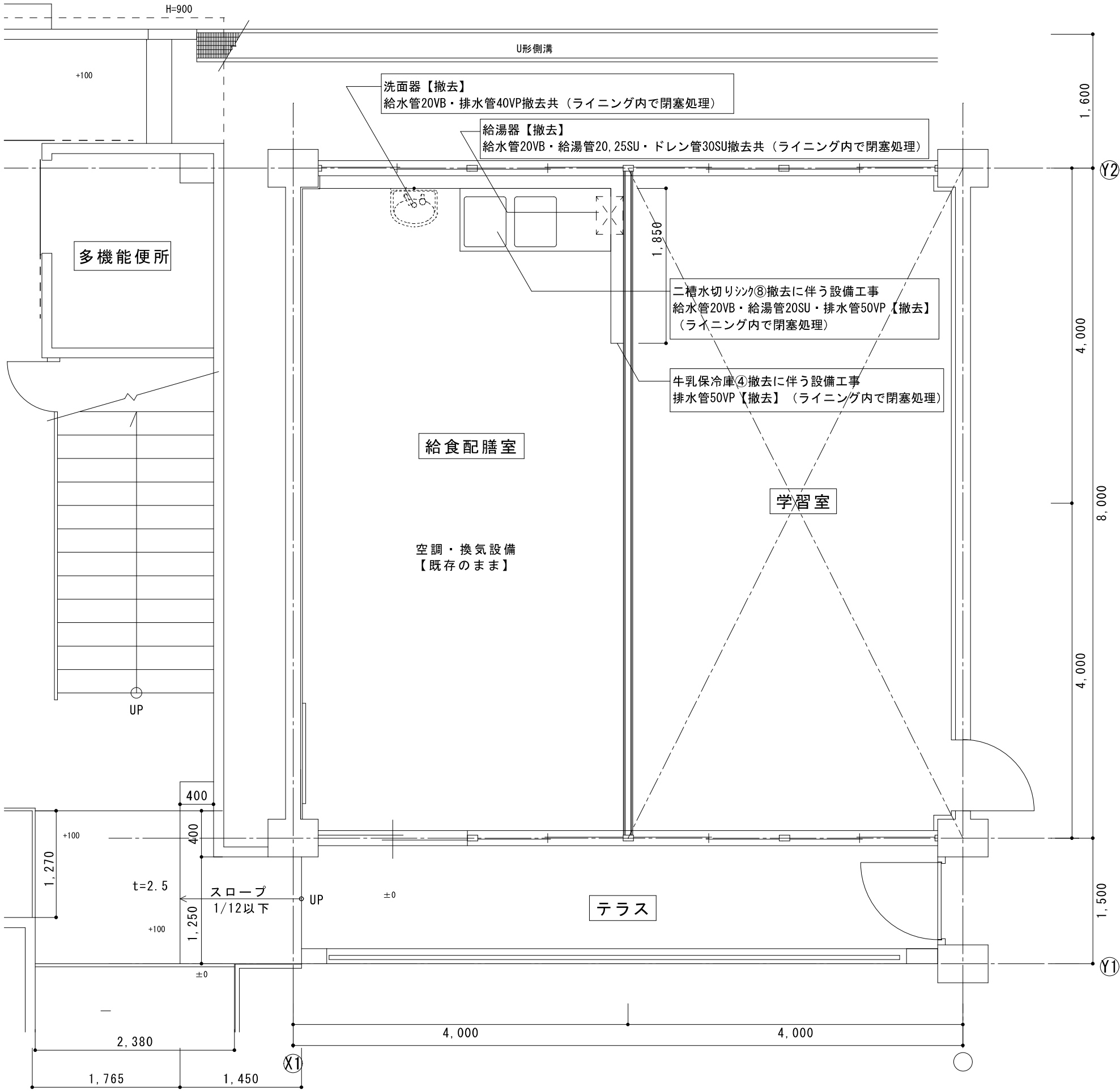
凡 例 ( 既 存 ・ 改 修 )					
記 号	名 称	仕 様	区 分	保 温 ・ 外 装	備 考
	室内機 (AC)	天吊形	-	-	【既存のまま】
	全熱交換器	壁掛形	-	-	【既存のまま】
	換気扇	壁掛形	-	-	【新設】
	運転リモコン	リモコン	-	-	【取外し再取付】
	コントロールスイッチ	24時間換気対応型	-	-	【既存のまま】



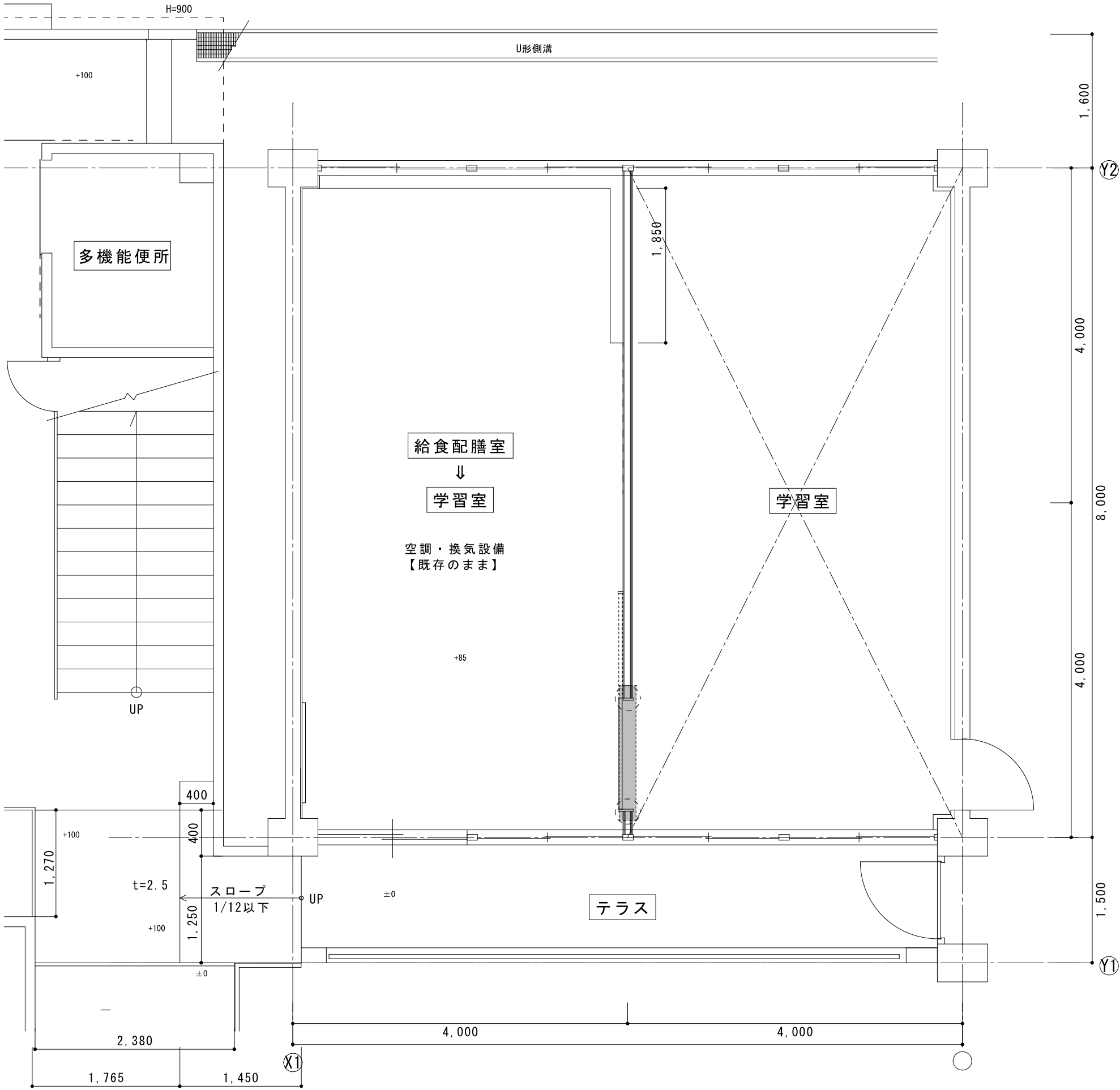
改修平面図 1/100

換気機器表 (改修)					
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 容 量 φ V kW	設 置 場 所	台 数 参 考 型 番
FE-1	換気扇	型式：壁付換気扇 250口 仕様：465m3/h 8Pa 付属品：SUSカッターカバー（防鳥網付） 取付枠（薄壁用） その他標準付属品	1 100 155W	1F 給食配膳室	1 EX-20SC4-S（三菱） FY-20EE6/43（パナソニック） VFW-20S（日本キャリア）

原図サイズ＝A 3



既存 平面詳細図



改修 平面詳細図

撤去仕様表

配管種別	管種名称	規格	施工区分	保温仕様
給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)		屋内一般配管	グラスウール化粧保温筒+粘着テープ
給湯管	一般配管用ステンレス鋼管 (SUS)		屋内一般配管	グラスウール化粧保温筒+粘着テープ
排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)		屋内一般配管	グラスウール化粧保温筒+粘着テープ

原図サイズ=A 3